

令和3年度  
NPO関連予算総括表  
(復興(震災・原発事故)関連事業)

内閣府

令和3年度 NPO 関連予算の特徴		NPO等の「絆力（きずなりよく）」を活かした復興・被災者支援事業について、引き続き実施していく。										
連番	事業名	新・継 区分	施策・事業概要	3年度予算額	2年度予算額 [うち3年度使 用見込残額]	補助率 上限額	実地主体	公募スケジ ュール	申請方法	照会窓口	2年度 NPO へ の実績	備考
1	NPO等の「絆力（きずなりよく）」を活かした復興・被災者支援事業	継続	復興・被災者支援を図っていくため、NPO等が被災者と被災者、被災者と行政、被災者と支援者等と結びつける「絆力（きずなりよく）」を活かして復興・被災者支援を行う取組※1や、復興・被災者支援を行うNPO等の絆力を強化するための取組※2に対して支援を実施。 ※1 被災者の心のケア、健康・生活支援に向けた取組、コミュニティ形成支援等の復興に向けた取組、原子力災害からの復興に向けた取組、中間支援の取組 ※2 復興・被災者支援を行うNPO等が支援者等と結びつためのマッチング・交流等（各県が実施）	123	168	3分の2	左記※1 NPO法人、自治会、社会福祉法人、協議会等 左記※2 岩手県、宮城県、福島県	各県（岩手県、宮城県、福島県）によって異なる	岩手県、宮城県、福島県の窓口に対して申請	内閣府政策統括官（経済社会システム担当）付参事官（社会基盤担当） 03-6257-1514	絆力を活かして復興・被災者支援を行う取組の採択件数：53件（3県合計）	【頁3】
予算額合計(内数事業除く)		—	—	123	168	—	—	—	—	—	—	—
3年度使用見込残額合計		—	—	—	[ — ]	—	—	—	—	—	—	—
3年度実質予算額合計		—	—	123	—	—	—	—	—	—	—	—

《記載要領》 [令和3年度NPO関連予算の特徴欄]には、2年度と比べた3年度NPO関連予算全体の特徴等を記載して下さい。

[対象事業] NPOに資する事業(NPOが手挙げ(参入)出来る事業及びNPOのための研修等の事業)とします。これに該当する事業は全て記載し、該当しない事業は記載しないで下さい。なお、2年度で“終了”し3年度は実施しない事業でも、前年度と対比するために、漏れなく記載して下さい。期の途中で新たに予算化された事業も記

載して下さい。

[新・継区分欄] 当該事業の区分(“新規”、“継続”、“名称変更”、“統廃合”、“終了”のいずれか一つ)を必ず記載して下さい。なお、“名称変更”、“統廃合”の場合は、旧事業や廃止した事業も同じ行に記載し(予算額は合算)、2年度のどの事業(名称)であったか等を備考欄に付記して下さい。

[予算額欄] 3年度予算額欄には直近の政府案、2年度予算額欄には補正予算(第1～3次)を含んだ額を記載して下さい。うち補正予算等で3年度使用できる見込残額がある場合は、下段に[ ]括弧で囲みその予算額も表記して下さい。予算計上された年度をベースに記載して下さい。なお、NPOが手挙げ(参入)出来るのは、その予算額全額に対してではなく一部であり、額が事業毎にどうしても区分できない場合は、( )括弧で囲み(〇〇の内数)と表記して下さい。

[最後の合計欄] 3年度予算額欄と2年度予算額欄の縦罫を合計した予算額合計を記載して下さい。ただし、内数事業(3・2年度のいずれかが内数事業を含む)の場合は、合計するときのみ3・2年度ともその額を除いて下さい。なお、3年度実質予算額合計欄には、3年度予算額合計+うち3年度使用見込残額合計の合計を記載して下さい。